

## 第 24 回 いなべエフエム番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 7 月 4 日(水) 19 時 00 分～
2. 開催場所 ザ・グランドティアラ千寿
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 3 名

### 出席委員

石原正敬委員長 日紫喜淳委員  
種村道夫委員

### 欠席委員

石垣 英一副委員長 牧野秀紀委員 末松則子委員

### 事務局

理事長 弓矢孝己  
事務局 川島修  
中林謙太

## 4. 議題

1. 報告事項
2. 審議用サンプル番組について  
「いな総放送局」
3. 各番組メール集計について

## 5. 議事の経過の概要及び結果

### 事項 1. 報告事項

<事務局より>

7 月からの番組編成について報告。

### 事項 2. 審議用サンプル番組について

委員

高校生が自分たちで台本から作っているのは経験としていいことだと思う。  
同じ学校の生徒が聞いてくれるといいと思う。

事務局

開局当時から続けて頂いているので、他の生徒さんやご家族も聞いていただけると嬉しい。

委員

素人感が出ているのもたまにはいいと思う。

年配の方などには難しいと思うが、若い方にはいいと思う。

楽しそうにやっているの、聴いてくれる若い方が増えてくれればいいと思う。

委員

校内放送をやっているのであればいいが公共の電波を使っているの、いなベエフエムとして少しでもかかわった方がいいのではないかな。

月4回の放送のうち1回でも高校生を引き上げるためテーマを与えてみては。

例えば、「高校生が考える防災」や、「家族について」など、何かやってあげないと高校生も何を求められているのかわからないと思う。

高校の校内放送ではないという事を教育的にやってあげるのがコミュニティエフエムとしての役割でもあると思う。そうすれば生徒も責任感が出てくると思う。

堅苦しくすると生徒も硬くなるので柔らかく作れるようにしていただきたい。一度学校と調整してみてもいいかな。また、市内のイベントに出かけて自分たちで番組を作ってもらい、地域を発見して社会とのつながりをこの番組を通して感じてほしい。

そうすればこれがコミュニティエフエムといえると思う。

### 事項3.各番組メール集計について

事務局

月曜日から金曜日の朝、昼、夕の生放送に関しては特に大きい変化はなし。

いなべ市内や市周辺の方からのメールが多い。

日曜日の生放送については、市内やその周辺の方からは少ないが、他府県各地からのメールをいただいている。全国のリスナーさんからさらに広げて頂けるようやっつけようと思えます。現在は微力だが、いなべの発信にもつなげたい。

## 6.審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定。

## 7.公表の方法

自社ホームページ

## 8. その他

委員

大学生のパーソナリティはもういないのか。パーソナリティは固定出来てきたのか。

事務局

現在はいません。完全に固定できたとは言えませんが、現在の体制では何かあった時に対応できない場合が出てくるかもしれませんので常時募集しております。

委員

以前、研修している方が見えたが現在は。

事務局

以前研修を受けていた方は、パーソナリティとして放送に携わっております。  
希望者で個人的にレッスンを受けている方が4名ほどおります。

以上